

長野県立歴史館たより

2024年 秋号 vol.120

特集

描かれた川中島合戦

～屏風・錦絵にみる戦の世界～

謙信 信玄 刀打

界小島渡船

旧杵包英治

11月3日(日)、当館は開館30周年をむかえます。

INFORMATION

インフォメーション

□2024年(令和6年)・2025年(令和7年)
9月～1月の行事予定

9月

※9月9日(月)～9月19日(木)は全館くん蒸のため休館となります。

休館日
2・
9～19
24・30

講座・イベント

県立歴史館出前講座
in大桑 9月21日(土)

考古学セミナー①
9月21日(土)

館蔵文書を読む会⑤
9月26日(木)

古文書講座
上級 第5回 9月28日(土)

県立歴史館講座④
9月28日(土)

10月

休館日
7・15
21・28

古文書講座
初級 A 第5回10月6日(日)
B 第5回10月3日(木)
中級 A 第5回10月5日(土)
B 第5回10月3日(木)

県立歴史館出前講座
in諏訪 10月5日(土) in箕輪 10月26日(土)

古文書探訪会(会員のみのみ)
10月10日(木)

考古学体験講座①
10月20日(日)

館蔵文書を読む会⑥
10月24日(木)

秋季企画展

描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～

10月12日(土)～11月24日(日)

講演会① 10月19日(土) 「川中島合戦の真実」
当館特別館長 笹本 正治

講演会② 11月16日(土) 「絵画に見る川中島合戦」(仮)
山梨県立博物館長 守屋 正彦 氏

講座 11月2日(土) 「新・川中島合戦論」
当館文献史料課長 村石 正行

開館記念日(森將軍塚まつり)
11月3日(日・祝)

古文書フォローアップ講座
上級・中級 11月9日(土)
初級 11月10日(日)

アーカイブスカレッジ(申し込み者のみ)
11月11日(月)～11月16日(土)

考古学体験講座②
11月17日(日)

アーカイブス講演会
地域歴史資料の保全・活用・地域貢献
11月17日(日)

館蔵文書を読む会⑦
11月20日(木)

12月

休館日
2・9
16・23
29・31

クリスマスリースづくり
12月1日(日)

近世史セミナー
12月7日(土)

県立歴史館講座⑤
12月14日(土)

考古学体験講座③
12月15日(日)

館蔵文書を読む会⑧
12月19日(木)

失敗するから
成功がある



冬季企画展

佐久間象山遺墨展 ～書は人なり～

1月11日(土)～2月24日(日)

1月

休館日
1～3
6・14
20・27

表紙写真の解説

川中島合戦図屏風(紀州本)

(江戸時代前期 和歌山県立博物館蔵)

和歌山県立博物館の「川中島合戦図屏風」は六曲一双の画面に、右隻に1554年(天文23年)の合戦と左隻に1556年(弘治2年)の合戦を描いたものです。写真の一騎打ちは右隻の6扇にあり、『北越軍記』等の上杉方の軍記物をもとに「御幣川に馬を乗りいれ、川の中での太刀と太刀との一騎討ち」のシーンを描いています。

行事アルバム

* 夏季企画展 疾風怒濤 木曾義仲 *
～文書と絵画でみる義仲の一生～



会期39日間を駆け抜けるように走り抜けた夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」。寺外初公開の木曾義仲木像や東大寺文書、数多くの屏風・絵巻など来館者は熱心に観覧されていました。木曾の町村や小矢部市などから後援をいただき感謝申し上げます。立川談慶師匠の寄席や長村祥知先生の講演会、当館職員の講座のほかオリジナル缶バッジ配布や巴御前の顔出しパネルなど夏休みらしい取り組みも好評を博し、夏季企画展は無事盛況のうちに終了しました。

開館30周年記念 寄席

「源平盛衰記」

落語家:立川流真打 立川談慶師匠

立川談慶師匠の初蔵出し「源平盛衰記」。まさにこの企画展に合わせて下ろしていただいた演目です。師匠は上田市丸子のご出身。義仲ゆかりの地ということもあり、熱のこもった躍動感ある話芸に満員の会場の客席は圧倒されました。中入り後の第2演目は「柳田格之進」。映画「碇盤斬り」のもととなる古典落語。静かに聞かせる物語は、写実的であり、登場人物の動きの情景がまさに目に浮かぶ感動的な寄席となりました。



長野県立歴史館たより 秋号 vol.120

2024年(令和6年)8月29日発行
編集・発行 長野県立歴史館

〒387-0007 千曲市大字屋代260-6
電話 026-274-2000(代) FAX 026-274-3996
E-mail: rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ: https://www.npmh.net/

印刷 有限会社アツツーロ